

謝 辞

本論文を完成するまでに、まことに多くの方々からご指導、ご協力、ご応援をいただきました。ここに改めて、感謝の意を表したいと思います。

指導教官であります山口満先生には、多大なご指導、ご鞭撻をいただきました。研究生のとき、先生から机と椅子、そして研究テーマとしてSBCDをいただき、今まで言葉では表せないほど、多くのことを教わりました。さらに、いつも先生にご心配、ご迷惑をお掛けいたしました。穏やかなご相談、ご配慮いただきました。先生の高い研究視野や研究方法を教わり、これから私の研究のもとになるはず。先生の奥様にもいつもお世話になりました。心より感謝いたします。

田中統治先生には、1年生のときから今まで研究の方法や調査方法をはじめ、論文の細かいチェックまで、多くのご指導をいただきました。お忙しいところでも、怒らずご親切にご指導いただき本当に心から感謝いたします。学会発表や論文発表などのとき、ご心配、ご応援をいただいたことは一生思い出として残ると思います。

論文指導委員会の新井保幸先生、川合治男先生、佐々木俊介先生にご指導いただき、感謝いたします。そして、研究科長であります山内芳文先生にも大変感謝いたします。教育学系の先生方々に感謝いたします。

須藤稔先生、鈴木浩之先生、海老澤勤先生、渡辺渡先生には調査のご協力いただき、感謝いたします。

ゼミや飲み会、院生室などで、論文についてさまざまな意見や助言を下された教育課程研究室の飯田、鈴木、金、岡部、林（尚）、林（明）、根津、浅野、森田、岡田の院生諸氏にも深く感謝いたします。特に、論文の細かいところまでお読みになってチェックして下さった根津さんに大変感謝いたします。最後の仕上げを手伝って下さった朴とウン後輩にも感謝します。

韓国の東亜大学校修士の指導教官でありました申海雨先生は私を初めて研究の道を導いて下さり、今までお世話になっております。大変感謝いたします。また、私が学部時代から今まで大変お世話になっております崔震昇先生にも大変感謝いたします。同大学校の教育学科の先生方々に感謝いたします。助言と激励して下さった慶北大学校の李慶燮先生にも感謝いたします。また、お亡くなりになりました宋明子先生にも感謝いたします。

留学の生活を世話していただいた東京の叔父と、亡き叔母に感謝いたします。また、私を生んで育てて下さった母と、亡き父に感謝いたします。そして、兄弟に感謝します。

最後に、私がお世話になったすべての方々にも大変お世話になったことを感謝いたします。

1999年 1月 25日 月曜日

鄭栄根